

## 安全なチェーンソー伐倒作業の徹底に向けて

### 1 はじめに

林業従事者の伐木技術の向上を図り、労働災害を未然に防止することを目的に令和元年度から登録が開始された「岩手県伐木技術指導員」による技術普及研修会を開催したので報告します。

### 2 研修内容

令和2年10月21日、大船渡市赤崎町にある気仙地方森林組合の間伐団地で行いました。

講師には、株式会社齋藤林業の齋藤 啓 氏をお迎えしたほか、研修会直前に指導員に登録された気仙地方森林組合の細川 稔 氏にも協力をお願いし、大船渡管内6事業体、県機関合わせ15名が参加しました。

#### (1) チェーンソー及び安全装備

参加者の装備を確認し、保護ズボンを着用したにもかかわらず発生した死亡災害も紹介しながら、メンテナンスの重要性も確認しました。

ソーチェーンの目立てでは、ガイドを使った標準的な目立て方法を確認しつつ、それより上の切れ味を目指すのであれば、ガイドを使わず目立てを行う必要があるとの指導があり、講師が目立てしたチェーンソーの切れ味に参加者からも驚きの声が上がりました。



ガイドバーのメンテナンス作業

#### (2) 伐倒作業・間伐作業

伐倒の基本動作を踏まえ、足場を固め両足と肘の3点でしっかりと安定させることを確認しました。はじめに講師が模範伐倒をしてみせ、受け口・追い口の会合線が水平であることなどポイントを確認した後、参加者それぞれが伐倒作業を行い、講師から指導を仰ぎました。

また、間伐のかかり木処理の実演も行い、かかり木にならないことも大事だが、それを恥ずかしがらず、安全に処理をすることの重要性が示されました。

#### (3) 意見交換



ワイヤーによるかかり木処理

1日の作業目安、作業の効率化へのヒント、つるからまりへの対応、作業道を入れる時期、残存木に傷をつけない間伐作業など、あらかじめ集めた質問事項を含め、実践的な内容の意見交換が行われました。

### 3 研修を終えて

参加者の経験年数は、5か月から15年以上と幅がありましたが、それぞれが課題認識を持って参加し、有意義な研修となりました。

今後も、指導員の制度を活用しながら、林業現場の最先端で活躍される林業従事者の方々の安全確保の支援を行っていきます。